

2023年度 Innovative Research Group of Gastroenterology に関する研究助成(IRGG) 助成対象者

(五十音順 敬称略 所属は8月29日時点での財団登録データに基づく)

名前	所属機関	研究課題
小栗 典明	杏林大学医学部消化器内科学	慢性腸管炎症により生じる腸管マクロファージの持続的エピジェネティック変化が免疫機能へ及ぼす影響についての検討
清原 裕貴	慶應義塾大学医学部内科学(消化器)	cfDNAメチル化解析による炎症性腸疾患の新規分子マーカーの探索
古谷 聡史	島根大学医学部内科学講座第二	感染性腸炎後に誘発されるPI-IBSの病態に関わる自然免疫受容体シグナルの解明
澁谷 尚希	慈恵大学医学部医学科消化器・肝臓内科	Farnesoid X receptor (FXR) アゴニストが炎症性腸疾患の大腸上皮に与える影響の解明
清水 康平	大阪公立大学大学院医学研究科医化学	ユビキチン修飾系によるネクロプトーシス制御に立脚した炎症性腸疾患発症機構の解明
鈴木 宏清	筑波大学医学医療系消化器内科	潰瘍性大腸炎病変部特異的機構の解明
高橋 純一	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学	多能性幹細胞由来浮遊腸オルガノイドによる炎症性腸疾患に対する再生医療基盤技術の開発
田中 美帆	東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科	原発性硬化性胆管炎の病態における腸内細菌代謝産物の役割解明
西成田 悠	杏林大学医学部消化器内科学	腸管微生物叢介入による宿主免疫機構の再教育を目指す炎症性腸疾患新規治療法の開発
日比 則孝	北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター	腸管免疫の恒常性と破綻におけるIL-1R経路の役割の解明
村上 舞	福島県立医科大学医学部消化器内科学講座	炎症性サイトカイン制御による炎症性腸疾患治療法の開発
渡辺 諭	東京医科歯科大学医歯学総合研究科消化器病態学	炎症性腸疾患に対するHTSによる新規薬剤開発及び初代培養細胞を用いた疾患関連遺伝子の同定